

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

- (1)有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法（定額法）によっている。
- (2)固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。
- (3)消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

本注記をもって附属明細書の基本財産及び特定資産の明細に代えるものとする。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
法人運営基金定期預金	860,000,000	0	0	860,000,000
法人運営基金普通預金	37,308,957	0	10,000,052	27,308,905
合計	1,097,308,957	0	10,000,052	1,087,308,905

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
法人運営基金定期預金	860,000,000	860,000,000	0	0
法人運営基金普通預金	27,308,905	26,000,000	1,308,905	0
合計	1,087,308,905	1,086,000,000	1,308,905	0

4.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

固定資産科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	343,440	137,376	206,064
合計	343,440	137,376	206,064

5.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	40,000
特定資産運用益振替額	208,000
受取寄附金振替額	20,000,000
経常外収益への振替額	
合計	20,248,000